

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-91)、
廃棄物管理施設(66)、MOX燃料加工施設(2-52))」

2. 日時：令和5年8月25日(金) 10時00分～11時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、横山
原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年8月24日の提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理については、竜巻防護及び溢水防護だけでなく、それ以外も含め、全体的な整理方針に基づき整理を進めるに当たり個別に事前に確認しておくべき事項を明確する。
- ・スケジュールについては、具体的な設備等の設計で説明する各項目の関係を踏まえて、中長期的な形で示す。
- ・次回審査会合での耐震関係の説明内容については、これまでの反省を踏まえた全体計画と進捗状況の要点を明確にした上で、追加調査の項目等を具体的に説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月24日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃からのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	は、
0:00:12	及びバーの2月に申請があった再処理、廃棄物管理及びMOXの加工施設の設工認申請についてのヒアリングになります。
0:00:24	のヒアリングは、昨日、提出があった資料をもとに事実確認を行うものになります。
0:00:30	本庁の出席者を紹介いたします。規制庁側タジリフジワラヨコヤマタケダで遅れて長谷川管理官が出席しています。
0:00:41	ットウェルからの参加が不作調査官。
0:00:46	郷が技師のカミデ河崎オノ以上になります。
0:00:52	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、本日のヒアリングでの説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:01:02	はい。
0:01:04	日本例年事務局の中浜でございます。
0:01:07	日本連盟側の出席者紹介いたします。
0:01:10	Steeringチームより、
0:01:12	ケットクノモトイシグロタカヤイシハラ。
0:01:18	あと六ヶ所側からMOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:25	それでは昨日ご提示差し上げました、今後の進め方、
0:01:29	ついて説明を始めたいと思う。
0:01:32	よろしくお願い。
0:01:34	はい。弓削イシダでございます。それでは24日付で提出をさせていただきました。今後の進め方でございます。ポイントだけ説明をさせていただきます。
0:01:46	今回特にです。ね別添1と書いてある資料3ページになりますが、
0:01:52	前回もお話しましたそれぞれの多数で作業今やらして同時並行的にやらせていただいています。
0:02:03	共通12の大枠の整理、であつたり考え方を間違いと定めていくということについては一番左側のタスクの中でやらしていただくと。
0:02:14	前回抜けておりますがそれをアウトプットを
0:02:20	竜巻を本当は上に行かなきゃいけないとか、竜巻であつたり水にアノバスを渡していくという作業が必要になる。

0:02:27	いうふうに認識した上でそれぞれのタスクを走らせていくということだと思っております。
0:02:33	で、
0:02:36	前回、昨日ですかね竜巻やらしていただいて来週火曜日に溢水量。
0:02:43	やらせていただくんですが、まだやはり、我々の中でも、それぞれのタスクいわゆる本体側から受ける、竜巻が来たり溢水だっりのタスクで何を定めていく、やっていくべきなのかと。
0:02:57	いうところで共通認識がうまく持ててないところがあると思っております。
0:03:01	実際は共通 12 を、じゃあ今、いざつくれるのかといったときに、おそらく整理をしなきゃいけないところがまだ残っていて、いきなり資料になったり資料 3 がつくれる部分があるんじゃないかと私は認識をしていってそういったところ、
0:03:16	部隊の対象物に対して整理をしていくと、いうことを、それぞれのタスクでやらないといけないと思っておりますがそういったところをしっかりとす。
0:03:27	ステアリングの中で共通認識が持てるように、
0:03:30	今日も終わった後も時間あります来週の月曜日とかですね、も含めてSteeringチームの中で私が今考えてることを、
0:03:41	しっかりと共有をして、共通認識が持てるように、作業に展開できればというふうに思っております。
0:03:48	はい。
0:03:49	プラス今回イメージしたのは前回からの個別補足説明資料それぞれのタスク共通収入を説明するときに、説明をさせていただくと。
0:04:01	いうことを、ご説明しましたが舞台として資料 3 で構造設計等を説明する対象については、そのそれぞれの共通時の説明の際に合わせて、
0:04:11	計上させていただくということで、ページをさせていただいてございます。
0:04:16	はい。
0:04:17	ただ本文戻って恐縮ですけど、当たり前のことを 1 ページに書いというところが、
0:04:25	(2)の竜巻のところに(2)でこのようにしてますが資料 2 の段階では、当然他の設計説明分類でも共通的な同一の設計方針からの展開がある場合は、
0:04:37	何が対象でっていうのと累計も含めて、代表設定も提示をしますのですそういったところは設計説明分類外的事象竜巻竜巻のとかを含む外的事象の

0:04:48	対策設備をトップバッターでやりますと言っても、資料の2の段階では防護対象等も含めて全体が整理された上で、お示しをするということで整理を進めていきたいと思ってますアノコガは抜けになると。
0:05:01	全体の整理が見えなくなりますのでそういったところもケアをして、しっかりと必要なものを出していくと。
0:05:07	ということで共通認識を持って作業を進めさせていただくということだと思ってます。
0:05:13	はい。あと、(2)(3)の竜巻と井清は現状、これまでヒアリング綿貫については竜巻のヒアリングの状況を踏まえた上での記載。
0:05:25	ということで、今後やるべきことを記載をさせていただいてございます。
0:05:29	はい。
0:05:31	1ポツ後は、すいません前回出てた3ページでいう十時10名に値するところは、最後キャッチアップしますということでちょっとこれも、
0:05:41	今欠けてるのが、三つの共通順位だけです。なので本当はこれだけではないので後も含めて、全体がちゃんとキャッチアップできるということがわかるように、今後示させていただきたいと思います。
0:05:54	前回竜巻のヒアリングでも、今後の中長期的なビジョンというのもしっかりと示していく必要があるという辺りをさせていただきます
0:06:02	今現状は、外的ハザードの対応で、の方が構造設計等の説明だったり、代表だったり、累計も含めた説明が、
0:06:14	やりやすいかなということも含めて、かつ新規設備の対策設備があるのということで、外的事象と止まったりさせていただいてます。これだけでは当然なくて他にも、
0:06:25	設計説明分類で説明しないといけないもの、あと説明グループを設定しますんで、当然説明最初の外的事象の対策設備で説明しない。
0:06:36	条文ってのがあれば、どこの説明グループでキャッチアップするのかっていうのも含めて、共通に本体の中でお示しをして、
0:06:44	全体額がわかるようにということで整理をさせていただければと思っております。
0:06:51	あとす。
0:06:52	2ポツを先にやりますか。
0:06:54	最後のスケジュールは最近、はい。
0:06:57	それでは荷物体験管理費の算定の進め方のパートでございませう。今回です。ね。まとめ方として良寛広域で、議会審査会合までの対応等強化後2月サカイ5以降の対応の

0:07:12	発言について、今回させていただいております。
0:07:15	次回審査会後までの対応につきましては8月21日に、提出の説明資料のヒアリングを元に予算いただいたところと28日にもご予約をいただいているところでございます。
0:07:27	23日のヒアリングまで修正対応方針を本日提出いたしましてこれ28日を確認したら、
0:07:34	この方には月とのヒアリングを、のを、
0:07:39	決算を踏まえまして831番を提出すると、こういうことで考えてございます。
0:07:45	次のページでございますけれども、次回会合での説明資料パワーポイントでございますけれどもこれは13日に原案をいただいておりますけれどもこちらを踏まえた修正対応方針を、8月25日本日提出してこちらにヒアリングという、
0:08:00	そして28日にですね、基盤をご提示差し上げまして部長にこういうことで、
0:08:09	両括弧2. ヒガシサカイコウノアノ対応でございますけれども、まず当面のを進めなくちゃならない、目前の系統事項をやる予定でございます。
0:08:20	一つは、西ヒガシー番の地震観測記録による減衰定数のアンケートということで、伝達関数の検討及び異議図っていくとこれをやっていく必要がございます。
0:08:30	それから次に基本基盤モデルに採用するベース
0:08:34	中谷。
0:08:35	いうことをそれに
0:08:39	行った。ばらつきの設定方法についても検討していく必要があるという認識をしております
0:08:50	とともに、出てきたデータから分析していくと、当面このタスクが、
0:08:55	ございまして、タスクとしてのまとめはこうなる
0:09:05	こういうことになるかなということで、AからEまで次まで、
0:09:09	ですけれどもこれ
0:09:11	ヒガシ地盤の減衰検討ですけれども、まず、検討に用いる信頼区間速度
0:09:18	が必要ということでこれ、もう、8月25日までと、いうスケジュールで今進めていると。
0:09:25	そしてこれ本日までというところをやっているところでござい

0:09:28	両括弧に表記を反映した東二基盤の下水道性の大きい日ということでこれリニア媒体提出書類について、てのを解析していくということでこれを9月1日までのスケジュールで、力を考えてございます。
0:09:44	このヒガシandサイトウ定期から基づく観測シミュレーション
0:09:48	ヒロキシミュレーションを、また有山ニワー一定ケースに対して行うことでこれを、9月の不要か負けたということで、すいません、規制庁カミデですけど、
0:10:00	書いてあることは読んであるんで、それ以外に説明することがあればお願いします。承知いたしました。失礼します。
0:10:07	ということですね。江藤。
0:10:27	ご説明は以上でございます。
0:10:33	掛川です。それではここまでの説明につきまして規制庁ハラカトウございますでしょうか。
0:10:41	規制庁の藤原ですけど、別添一井で、今日ご説明あったんですけど、
0:10:48	緑の矢印のその竜巻の部分をちょっと入れるところが間違ってたみたいな話もされたんですけど、もともとむしろそう入れたいのか、どうなんだろうと前回のヒアリング、進め方のヒアリングを踏まえると、
0:11:02	共通12年の整理を踏まえてやらなきゃいけない溢水等、そこまで待たなきゃいけないのかっていうような、竜巻っていう話もあったので、あえてここに入れてるのかなと一瞬思ったんですけど、一応あれですかね。
0:11:14	上の箱のほうに矢印が飛んでっていう感じで、はいつていうふうな理解でいいんですか。はい、日本ニシダでございますはい。おっしゃっていただけてる通り私がざっと見過ぎましたんで、赤字で別添1で一番右の上の枠に書いてある矢印。
0:11:28	ものが正しく教授に渡す前にやるべきことだと思ってましてこれが左側とリンクするということで矢印の入る場所をすいません間違えて、
0:11:38	はい。
0:11:39	規制庁のフジワラですわかりました。あと衛藤一番下、真ん中の一番下に作っていただいたのが、十時17の箱ってことですよ。
0:11:48	はい。
0:11:49	その通りでございます。はい。
0:11:50	規制庁の藤林その時に、ここに、
0:11:53	緑矢印って、
0:11:55	はい。

0:11:56	てかそこに本当はメインで入っていったけど、共通中にも言った、並行してというか、
0:12:04	もともとは十時 17 が上の方に本当あって、それを受けて 10、共通 12 の整理ってあったんですけど、それ、そこまでしなくてよくて、仮置なりで、共通準備を進めつつっていう話になってきたかと思っていたので、
0:12:17	どちらかという緑の矢印が、この一番下のところにも入り、共通 10 人でやっていることも、こちらのところで少しは反映していったりっていうところが見えるようになるってことかなと思ったんですけど、認識としてはいかがでしょうか。はい。入社でございます。
0:12:32	はい。認識としてはおっしゃっていただいている部分が多々あると思います大枠の方針を一番左側でまとめつつ、それを前提にそれぞれタスクを走らせながら、
0:12:45	その大枠のタスクからも当然キャッチアップしないといけないものがあると思うので、三本、本当は矢印があって一番下に戻っていくということが必要だと。
0:12:57	具体的なものを展開していくので、最後キャッチアップすればって意思が強過ぎてちょっと最後、1 本抜けましたけど、やりたいことはおっしゃっていただいている通りです。
0:13:05	はい。
0:13:06	規制庁の藤村です。はい。上の箱の方に緑の矢印が入ってるのでそういったことかなと思ったんですけども。はい。認識としては理解しましたあと、
0:13:16	そういった日、それぞれの整理を受けるからっていったところでまだ日付とかは明示できないっていう状況ですかね。はい。日本インダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りでそれぞれの共通就任に当たった後に、
0:13:31	どういった時間軸っていうのも含めて、まだきっちりと整理ができているわけではないと思っていますのでそこも含めて今後詰めていく必要があると思いますはい。
0:13:40	規制庁の藤原です。わかりました。よろしく申し上げます。とりあえず私からは以上です。
0:13:46	規制庁の田尻です。最初のページですけど、ごめんなさい。田尻さん。
0:13:54	別の話をしようとしてる。ごめんなさい別のところ行こうとしています。
0:13:58	すいませんコサクです。そうすると今の話でちょっとよくわかんないのでお聞きしたいんですけど、

0:14:05	共通 12 の
0:14:07	本文なり整理の方針を踏まえて、今日、
0:14:12	十時、17 っていうことを言われてるんですか。
0:14:16	はい、乳井西田でございます。まず、大枠は今書いている、ちょっと矢印 一歩間違っていました
0:14:26	竜巻の方というよりは溢水側に伸びている真ん中の矢印、これがあの 日、
0:14:33	とあとは竜巻以外の部分ですねそれぞれが、DBSA、どういう評価を合 わせてやっていくかどういう枠が決められればそれぞれのタスクが走る と。
0:14:45	いうことだと認識をしています。外傷関係も当然その他要因も全部、共 通順位で整理をしないといけない項目にはなるので、大枠はそちらでキ ャッチアップはできるといいながらも、
0:14:58	共通順位としての整理、そういう意味でいくと、矢印が下に直接というよ りは共通順位でやったことを、本体は 1 回キャッチアップをしながらもう 1 回今日、十時 17 に戻すという線なのかもしれませんが、
0:15:14	そういったやりとりが必要なのかなというふうに思って先ほど発言をしま した。
0:15:20	どっコサクです。言ってることが 2 転 3 転してる感じになっちゃってんで すけど、
0:15:27	原因何かなと。
0:15:30	少し頭を合わせたんですけど、溢水って書きちゃってるので、溢水以外 のことも重大事故とDBA他のハザードの関係と、
0:15:41	いえるのはまとめなきゃいけないのでっていうことでしたかね。
0:15:46	はい。稲毛ニシダでございます。はい。そうですねこの間、全然、この間 っていうか十時 17 の手前の方で、
0:15:57	整理をしたときも、大体評価だけではなくて設計として合わせて、共通項 だよなっていうところの整理もしないといけないという話もあったのもあ るので、そういう意味でいくとおっしゃっていただいた溢水だ。
0:16:10	ではなくて、それ以外のものも全部整理をして、1027 では、キャッチアッ プする必要があるというところだということです。はい。
0:16:21	はい。補足です。それで言うと、竜巻もですよ。はい。そういうことで すし、
0:16:30	全般考えることになるんですけど、どちらにしても、
0:16:36	上の緑カラー、溢水なり竜巻なり考えようとしたときは、

0:16:42	全体として、36 条、
0:16:46	1 かね。はい。
0:16:48	BのJISAの設計方針の整理をしなくちゃいけなくて、
0:16:53	その
0:16:55	共通中に資料 2、
0:17:00	やった上で
0:17:03	溢水、
0:17:05	竜巻、外部事象、
0:17:07	もろもろ
0:17:09	展開していくと。
0:17:11	いう作業だったと思うので、
0:17:16	直接十時 17 に行って作業するということがなく、
0:17:22	共通 12 でやられる、それを、
0:17:25	その整理でできたものについて、どこで書くんだったということを、17 で、
0:17:32	受け持つということで、
0:17:34	共通 12 の方針で共通、
0:17:38	4 時 17 を何か対応するってこと自体は基本ないんじゃないかなと思ってたんですよ。なので構図なんだろうなと私は思っていたんです。
0:17:52	はい、西田でございます。はい、ありがとうございます。整理の考え方をちゃんと定めて、もう一度頭の、
0:18:01	整理というか私自体の整理をし直しようと思いますはい。おっしゃっていただいている通りで、まず評価と評価だけではなくて設計も含めて 36 条と、
0:18:16	8 条なり 12 条なり、いろんな条文での設計をどうせい、整理していくかというのは資料 2 で、整理をしないといけないことだという認識をしています。
0:18:27	その代表格がここに出てくる溢水だったり、外部衝撃であるという認識でございます。外部衝撃は、10 月下旬という右の一番下の枠に入っているその他、
0:18:40	も含めて、右側の共通順位の中で、資料 2 を作ってそれぞれの相互関係の整理をした上で、どう、どう設計がどこで展開されるのかということまでやりますので、
0:18:53	やらなきゃいけない対象物は、溢水とこの左側のやつで、大枠全体がキャッチアップできるということで認識をしています。はい。ので、

0:19:03	そういったことも踏まえて、図の整理というか現状の整理が正しいのかどうかという確認も含めて、やらせていただこうと思いますはい。
0:19:15	はい、古作です。
0:19:17	この図をどう書くかもあんまり重要ではないんですけど。はい。重要なのは、最初に重大事故の整理があるんだよということだと思います。
0:19:29	それがどういうふうに表示されるのかっていうのが不透明なので、皆さん、どこで何をやるんだっていうところが宙ぶらりんになり、溢水竜巻は相変わらず何となく一言。
0:19:43	インプットを待ってるみたいな感じになってるんじゃないかなと思うんですね。
0:19:51	実はここにも書いてあって、溢水に入る緑色のラインの吹き出しのところに、
0:19:58	資料2で、条文間の関係を整理しますと、
0:20:01	言っていてですね。
0:20:04	これがまさにそれなんですよ。
0:20:07	で、これがその溢水にしか入ってないから溢水で、一番下に行きますっていうふうに言ってしまったっていうことなんですけど、これは
0:20:17	すべての事項になっていてなのでこれは竜巻の方にも入る。
0:20:21	ということだと思って。
0:20:24	それ、
0:20:25	一線立間被害も含め、全体として
0:20:33	十時10名の方にインプットしていくと。
0:20:36	ということだと理解をしますけど、その資料日程、
0:20:44	いつ提示されますんで、それと、この溢水竜巻の整理というのとの順番なり、対応関係というのをどういうふうにしますっていうのはどう整理されてますでしょうか。
0:20:59	はい、上西でございます。はい。
0:21:05	今31日冷やしか、大枠とっていないので、一番左上がですね、そこが足りてないんだなと思いながらそういう意味でおっしゃっていただいている通りで、
0:21:17	左と右の多数の間にまだやんなきゃいけないことが残っている気もしているんで、現状、
0:21:25	共通の資料での条文化の整理関係性っていうのを、括弧で見真ん中の緑吹き出しで書いた通りそこ、

0:21:33	共通中に行くまでにキャッチアップを、それぞれのタスクにさせないとです ね、共通 12 の物自体がつくれなと思うので、
0:21:45	そのタスクを左側でちゃんとやるってことを認識をして、スケジュール感 もそれぞれ調整をしたいと思います。はい。
0:21:57	補足です。左でやるのかどうかはちょっと私はよくわかってないんです けど、
0:22:02	左は、
0:22:05	左の時に、一番上は方針名だけなので実務っていうところかというと、そ れぞれに展開するのかなと私は思っていました。で、下に行くのは主にも 複数、
0:22:17	の個別作業。
0:22:20	ということだと思う。
0:22:23	いって、
0:22:25	大本全体ですよっていう私言った、もう、
0:22:30	全部いきなりやるのはちょっとしんどいので
0:22:33	問題がある、溢水たつの気をやっていけば、
0:22:38	特に水ですけど、やっていけばバー悩ましいところっていうのはピックアッ プできそれが対象方針が整理され、
0:22:48	その整理に従って歩可能事象について整理を進めれば完成していくと。
0:22:55	いうふうに進めるつもりなのかなあと思っていたん。
0:23:00	ですよ。そうすると、
0:23:02	この椅子に係る設計方針の整理と言ってる粹なのかその上の、
0:23:08	絵の緑の中身なのかってのはよくわかりませんが、溢水で、まずは
0:23:15	被水のヒアリングで前回その中途半端な書き方をしている、合っていない んじゃないみたいなどころについての対処をまずやらなきゃいけないっ ていうタスクになっていくはず。
0:23:26	なんですけど。
0:23:28	この資料とあわせて提示されてる溢水能資料においてはそういうことが 抜けてますし、
0:23:37	それもあって、本件どう進めるつもりなのか全くわからなくなったって いう状況なんですね。
0:23:44	改めてちょっと説明していただきます。はい、西原でございます。はい。 まず、そうですね。
0:23:55	ディー・ディー・エスの共通項での整理、資料 2 での

0:24:02	それぞれの関係性の示し方で、おっしゃっていただいている通り一番難しいというか整理が必要なのは溢水だという認識をしています。
0:24:17	整理をですね、溢水でやるということで、まずは急いで整理をやるということ、
0:24:25	どういう関係性で整理をしていくとか、この間、橋をして中途半端だったDBとSAでどういう要求があって、どこからが合わさっていくのかも含めて明示できてなかった整理をですね、
0:24:38	この中でやらしていただくということで考えます。
0:24:43	そうすると、
0:24:47	その結果、その評価整理を踏まえて、竜巻とか外部衝撃も当然同じような整理をしないといけないんですけどその流れとの関係はどうなるんだってところを、整理をした上で前後関係含めて、もう一度整理をさせていただければと思います。やる側骨格は、
0:25:07	真ん中のイシカワのところ、まずしっかりとやっていくということで整理をさせていただきます。そうすると、
0:25:14	8月30日から飛躍からと言っていることを出す業務としてどういうことをやらなきゃいけないのかっていうのを今一度整理をして明確にした上で、それぞれの作業ステップを明示させていただくと。
0:25:26	ということかと思います。はい。
0:25:30	はい。コサクです。その辺りをしっかりと議論してもらえればと思いますし、
0:25:39	トリガーとしていい水の、次のヒアリングで、もう少し具体的話をしていければいいかな。
0:25:45	思います。ちょっと具体と言いましたけど、
0:25:48	昨日提示の資料が、
0:25:50	整理が余りにも認識が違う部分か。
0:25:53	散見されるので、
0:25:56	そういったところを話をして認識を合わせるっていうこと等であって、技術的な個別具体にはならないと思うんですけど、
0:26:06	一方で
0:26:08	溢水で難航して時間がかかるってなるのも、あんまりよくないなっていう気がしていて、
0:26:15	竜巻であったり或いはもうちょっと整理のしやすいもので1回頭の整理をするっていうこともあり得るんじゃないかなと思ってます。それは

0:26:25	竜巻で資料3を作っていて、紛糾したので、とりあえずボックスのグローバルボックスでといったようなこともある。
0:26:32	何か前例があるので、
0:26:34	ちょっと状況を踏まえながら、
0:26:38	どう進めるかっていうのをまた考えていく方がいいかなというふうに思っています。
0:26:44	はい。中ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで
0:26:50	評価の項目だったり条件だったり、SDでいろいろと、
0:26:57	関係性が複雑になってくるのが溢水だと思って、複雑と言ってもまずいですが、
0:27:03	早い話だと思うんですけど。
0:27:05	そこに比べてた樁はJappアップもしませんし、対象物が例えば、ほぼ一緒のものを対象にして評価をするっていうような部分もあるので、
0:27:15	構造設計とかも共通的なもので整理ができるという点も含めると、より整理しやすいものがほかにもあるだろうと思いつつながら
0:27:24	とはいえ、やらないといけないことを先送りしてもしようがないので井清をまず走らせるということで作業を進めます。ただおっしゃっていただいている余りにも整理時間から言えば、
0:27:36	右側の走りもできなくなるので、そこも含めて、優先順位を考えながら、調整させていただければと思ってました。はい。
0:27:47	はい。補足です。
0:27:49	実はですね、竜巻の方も、竜巻のヒアリングは何日でしたかね、話をしたときに、
0:27:59	マトリックスをつくって
0:28:05	設計図説明設計分類感であったり、衛星分類内の設備間と、
0:28:13	いったところで
0:28:15	説明すべき事項にどういう違いがあるのか、こういうところにどんな違いがあるのかというのを概観できるように整理をしていきましょう。
0:28:24	いうお話をされていて、ナカ2SAが入っていれば、
0:28:31	自然と今の作業ができてる形になるんですね。
0:28:35	その整理の作業プロセスっていうか、その見せ方って言ったところはちょっと溢水と違うことになるかもしれないんですけど、
0:28:44	実務実務とか実態の把握って意味では、やってることになると思うんですよ。
0:28:51	そうする等、まず、

0:28:53	ちょっと
0:28:55	アクセスの仕方は違うんだけど、
0:28:59	それぞれでやってみて、こういうふうに、
0:29:03	実務として整理をしながら共通中に資料 2 っていうのを、2 の 36 条対応と。
0:29:09	いうのをまとめていけるねっていうことの、整理がつくんじゃないかなと思うんですけど。
0:29:16	竜巻の方は SA 込みで作業していったってことでよかったですよね。
0:29:23	日本原燃の石黒です。SA 込みで、ホアシするように、
0:29:28	したいと思います。
0:29:32	はい、蘇武です。よろしくお願いします。それによって今のところをうまく、
0:29:37	補完し合いながら、TBS の関係っていうのが整理がつくんじゃないかなと思ってますのでよろしくお願いします。
0:29:45	土肥さん。
0:29:46	お願いします。
0:29:48	センターの谷です。
0:29:51	ちょっと頭にお話いただいて 1.1 の 1 ポツの (1) から共通 12 なんですけど、
0:29:57	通常に今の話も多少あるので、28 日以上で 31 日がこれからの本市方針というか対応方針の話をやった上でなんですけどこれで上手く行った上で、
0:30:07	この後出てくる 9 月 12 っていうのは、これ、何か複数回という雰囲気が出てこれ一番最初のタイミングで意識資料が示されるでいいんですけど。はい。二本木ニシダでございますはい。一色事業です。
0:30:20	規制庁田尻です。その場合に、原電のヒアリングまでの日程感がよくわかんないんですけど、なんでこっちは 3 日 PANDA その一番分量が多そうな気がするんですけど
0:30:32	はい、宮城西田でございます。はい。ちょっとここは、
0:30:37	再考させていただきます。はい。規制庁という方針のやつみたいに、分量も多なくて今まで話した内容を整理したもんです、全然まだわかるんですけど。
0:30:47	要は、真面目に言ったら変ですけどしっかり見る最初の約束です。
0:30:53	ごめんなさい。

0:30:56	私としてはですね、
0:30:59	ちょっと心配なんです。
0:31:02	本当にきっちり全部作られてるのかってなれば、
0:31:06	今田尻が言ったように、全体しっかり見て、しっかりと確認をしていくと。
0:31:13	いうプロセスでいいんですけど、
0:31:17	ちゃんと本分を落とし込んでるのかとか
0:31:21	いろいろと
0:31:23	IS。
0:31:24	うんすかね、方針なり作業プロセスとしてまだ、
0:31:28	確定していかなきゃいけないことがあるのであれば、それは早めに潰しておいて、その上で、
0:31:35	対応することを前提にしながら、他一式のものを見ていくということも必要。
0:31:43	なんじゃないかなと。
0:31:45	思っていて、そういう意味では
0:31:49	1回
0:31:51	見方とか、
0:31:54	いうところも含めてワンタッチしておいて、詳細具体はまた1週間後とかっていうふうに、とりあえずヒアリングとしては、仮セットしておいて、
0:32:07	出てきたところを見てワンタッチいらないねってなればキャンセルするっていうことで進めてもらいたいなと思います。
0:32:16	はい。乳井ヨシダでございます。はい。承知いたしました。そうですね。その前にやって本文との関係も、当然我々としては、
0:32:26	定義をしてお出しをすることで考えておりますがその辺の関係性だったり、グローボックスでこれまでやってきたことを、同じようなレベルで他のも、
0:32:36	整理できてるよねというのも含めて全体のパッケージとして、確認いただいて、
0:32:44	これ、
0:32:45	違うというところがあれば、早目にやりとりをさせていただくということも含めて、ヒアリングの設定をさせていただきます。そういう意味でいくと経路は違いますが、
0:32:58	耐震建物08、23によって28年としてるみたいな形で、通学小みたいな形で整理をさせていただきますはい。
0:33:09	はい、細井です例示はまさにそういうことであります。

0:33:13	背景は若干違いましたけど、はい。流れはそういう感じをお願いします。立石さん、いいですか。
0:33:20	従います。
0:33:33	規制庁とその他規制庁が何かございますでしょうか。
0:33:41	清長官です。どうぞ。共通 12 の関係で、最近、本文とかを調整しているところで、再処理側の設計説明分類とか説明グループの話が、
0:33:53	全部ツジになっていて、その割には、最近竜巻と海水のところで設計説明文のいいっていうふうに書いてきたりしているんですが、
0:34:04	この辺で、どういう検討状況になってるかというのをうかがわせていただけますか。
0:34:09	はい。与儀西原でございます。はい。現状考えてますのはえっとさ、今日提示の本部とか全体整理と言っている。
0:34:19	8 月 28 日に一条技術して 31 議案をやらしていただくものの中で、再処理の設計説明文の考え方、最初に載っている全体の設計説明分類の設定の考え方があって、
0:34:33	最初意図して、特別に何か配慮する事項ってのは、こういうものという話の全体の枠組みと実際の設計説明分類の設定をこういうふうに考えてます。
0:34:44	説明グループもこういうふうな流れで、それぞれ、条文なりの適合性で、どこで骨格、どこで、
0:34:53	何で共通的なものを扱うと、そういった整理も含めてこの中で
0:34:59	状況考えてることだったりその結果だったりというのをお示しようということ考えてました。
0:35:06	はい、規制庁から 8 月 28、資料提示も本文に、その辺の考え方と結果がまた掲載されて提出されるということで、
0:35:16	よろしいですか。はい、日本イシダでございます。はい。その通りでございますはい。
0:35:20	はい規制庁がです。それでですね、スケジュールの方見ると、外壁自署対策設備等、内的事象溢水対策設備防護対策設備等が、
0:35:32	9 月下旬から共通順位として説明されることに
0:35:36	なっているんですが、
0:35:38	ここの関係はその設計説明文とか説明グループの、
0:35:43	話しともちゃんと整合しているんでしょうか。
0:35:47	はい、イデイシハラでございます。はい。まず、右側に書いてある、第サカイベツヨ事象対策設備外部事象防護対象設備等と、

0:35:59	というのは現状を考えていた考えている設計説明文の行くリンクを取って、示させていただいてます。ただこの中にも当然防護対象等を、の中にも、またさらに分類が小分けになるところありますので、
0:36:16	そういったものを、ある塊で説明をしないと、
0:36:21	結局は資料 2 の中で、相互間のリンクも含めて説明しないといけないということも含めて今ある程度大枠で枠を取ってます。
0:36:32	分類的にはさらに細かいところまでわかりはするけど説明の単位として今大枠で括らせていただいているのが現状でございます。
0:36:41	内的事象の同じように、対策設備、防護対象等とありますけどさらにこん中の対策設備がもう他にもアノものはあるんですけども、
0:36:51	とはいえある 1 くりでの説明単位ということで普通の説明分類を一つに固めているというのが現状ですけど、設計説明ぶりの考え方としては現状左側で本文側でやろうとすることを今、
0:37:04	最新の情報はキャッチアップして入れているということでございます
0:37:08	はい。規制庁加来です。その単位はわかったんですが 3 ページ目のところで、それが並行して進むように書かれて、
0:37:16	いまして、その設計説明分類。
0:37:20	タカヤグループ、
0:37:21	このスケジュール感が整合してるのかなっていうところはちょっと気になった次第です。
0:37:27	いかがですか。
0:37:29	9 月下旬というふうに、からっていうふうになっています。
0:37:39	はい。乳井ニシウラでございます。今言われてるのはあれですかね共通 12 の外的印章対策設備と内的事象が同時に進んでるみたいになっているところ、これが、
0:37:50	どっかのスケジュール感ってことですかね。
0:37:55	はい。昨日の竜巻の平でも、当面の会合で、どんな順番で説明していくかっていうところとの関係の目のスケジュール、次回次回ぐらいの
0:38:07	当面の共通 12 年で何を説明するのかとかそういう話を少し検討するよう、
0:38:14	検討するということでしたが、その辺との関係も踏まえて、説明グループの設定とこのスケジュール感を、どういう感じになっているのかなというところを、
0:38:25	少しうかがわせていただければと思います。はい、日本インダでございます。はい。おっしゃっていただいている部分は理解をしました。

0:38:35	説明グループだったり説明を、どういうスケジュール感でやっていくかということ考えた時には現状考えているトップバッターでは、外的事象側になるので、
0:38:46	溢水とかの内的事象は、外的事象の後にはなりますので、そのスケジュール化をどう考えてますかという、的と同じ9月下旬に並ばない形になるとは思っていますが、
0:39:01	あとは、その中長期的な考えをしたときに、どのタイミングで、共通に構造設計等の説明をしていくのかと、いうことと、お尻のどのぐらいかかりそうかという
0:39:18	何ていうか複雑性というか、難しさというかその辺も考えて、溢水は逆に言うとお尻から逆算というよりは前に倒していったのが現状でございます。
0:39:29	溢水は、ちょっと時間がかかるんじゃないかなというのが正直思いながらこう書いてるところあります。はい。
0:39:36	はい。清長ですそういうIKイトウは把握した上で、少しそういうところも、今後、考えを整理したものをうかがわせていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:39:49	はい、弓削西原でございます承知いたしました。
0:39:57	規制庁日下です。今話し合ったのは、
0:40:03	そのちょっと前では、共通12の次のバージョンの時にに入れて止めますっていうことだったので、そんな時でも、
0:40:13	だから、
0:40:19	14、2828日資料提示だから31日日やと言ってるところで、少しもう少し具体お話できるよろしいですか。
0:40:29	はい。弓削ニシダでございます。はい。
0:40:32	おっしゃっていただいている通りだと思います設計説明ぶりだったり説明グループの考え方だったり、どういう順番でやっていくかということも含めて、本体側、あと参考でつけるものも含めて、
0:40:43	説明をさせていただこうと思っておりますのでその時に、ご議論させていただければと思っております。
0:40:52	はい。
0:41:05	その上で、
0:41:08	今のはな椎野繋がりにもなるんですけど、1ポツと2ポツで大きく分かれてるんですけど、

0:41:17	イセポツはそういったところは今触れられてない感じになって、2 ポツは、
0:41:24	(2)で、議会審査会合以降と、
0:41:30	ちょっと曖昧ではありますけど、曖昧というか、これもその次の会合ぐらいしか書いてなくて長期スパンが何も書いてないっていう状況なんで、
0:41:40	うん。
0:41:41	ここら辺、その温度差が大分あるのは何ですかね。
0:41:46	はい。与儀インダでございます。はい。
0:41:50	まずは、
0:41:55	私が整理しきれなかったところがあったのかなと、今後の進め方でそういう話もしますよと、言ったところから、3 ページのところはあくまで書くのが精一杯だったところがありますが、
0:42:09	とはいえ、
0:42:12	2 ポツの方は、今回の会合でも、次回以降の流れを書いているところもあって、
0:42:19	書いているというところで、全体的な中長期的な流れを示すのも今後の進め方という意味では目的ではあるので、
0:42:28	そういったところがしっかり書けるように、
0:42:32	資料の中での等も含めて、整理をしていきたいと思います。はい。
0:42:40	はい、わかりましたよろしくお願ひします。31 日のヒアリングで少しずつ話をして、それを頭の整理をしてこちらの資料で、全体像が見えるようにしていく。
0:42:50	いうことをしていただければなと思いますのでよろしくお願ひいたします。
0:42:56	はい、乳井西田でございますはい。承知いたしました。
0:43:07	規制庁側から確認でございますでしょうか。
0:43:17	よろしいでしょうか。
0:43:21	規制庁神ですけど、耐震の方にも入っちゃっていいってことですか。
0:43:26	はい。1 ポツが他になれば、はい。田井新川、確認お願ひします。
0:43:34	はい。規制庁菅です。耐震の方は、
0:43:41	この間も、
0:43:42	08 のヒアリングをして、今日、その他ヒアリングを受けた対応方針を含め、来週月曜日、またヒアリングをして、
0:43:54	その二倍スパー

0:43:58	来週の水曜日になってますが、
0:44:04	今のところは、来週の水曜日に、
0:44:09	ほとんど盛り込めると、要は、2 ページ目の
0:44:14	かつこう 2 で書いてあるもの以外はもう、30 日に
0:44:22	30 日の日に載せます。だからそれ以降は、特に対応考えてないっていうことなんですかね。
0:44:30	日本原燃の宇都でございます。今、23 日の日でいただいたコメントの補足説明への反映は、
0:44:40	この 2 抜けれるんじゃないかと思いながらちょっとやってはおります。さっきもお話いただきましょうからちょっとそこの反映は、
0:44:51	スケジュールは、またちょっとご相談しつつ、ちょっとスケジューリングしていきたいというふうに思っております。以上でございます。
0:45:01	はい。規制庁深見です。とりあえずはわかりましたが何らかコメントは出るでしょうから、そこも含めて、今 9 月 15 に、また次の
0:45:13	なんていうタイミングがあるみたいですけど、それが成立するのかどうかというところも、考えておいてください。
0:45:19	それで 30 日の資料はリバイス版ってことなんですけど資料の作り込みっていうか、
0:45:28	そういう話なんですけど、会合資料にも載つけるじゃないですか。
0:45:33	どうしようかなと思ってて全科いいわあ、補足説明のパッケージにはしないけど、中身的にはおんなじになってますねと。
0:45:43	いうことなのでその河川とかをどういうふうに聞くといいのかなあと思ってたんですけど、事業者で何か考えてるところありますか。
0:45:54	委員の方でございます。思い立ってわからなかったですけども、自然に行くとするれば今回補足説明資料の李 4 番と、
0:46:05	いう外勤になりますので、そのリビジョンアップした前野場における事業の箇所を下線を引くと、
0:46:16	いうふうな形になるのかなと。
0:46:21	要望に考えます。以上でございます。
0:46:24	これは前回の審査会合でつけたものが、補足説明資料のかわりだというか、ベースは言えそうではないですよ。今回はタナハシ入れるんですよ。難しい。はい。はい。はい。
0:46:39	ただ、前回パーツを説明してるから。うん。中に入ってるパーツは前回、公開して、
0:46:46	説明をしたというベースだと。

0:46:50	多分亀井さんの言われてるのはそれはもともとあるものだ、それが入り込むことを前提に、
0:46:57	今回変えてるところを河成にするっていうパターンが、今回あくまで補足説明資料としては初出したということで、
0:47:05	向かせるんではないのか、ただそうすると、
0:47:08	いろんなことを重複して説明したことになっちゃうところもあるのでそこをどうするかちょっと難しいのは難しい。そうですね。会合での、新たにご覧いただいてご審議いただいている気づきになるものをカセんだということだと。
0:47:22	今石原さん言ったように、前回出したところは、カセんじゃないくて、
0:47:29	今回新しくご審議いただくところがカセであると。
0:47:34	よう格好になる。
0:47:36	考えたんですね、前回審議したことになるのかっていうのがあるっていう気はしますが、話が今回まっさらなんです。
0:47:46	まさにその通りです。補足についてるだけで審議してるわけでもないの、あまり細かくあんた引いてもですね相当なアンダーがいつ出ることになっちゃって、
0:47:58	見にくくなるんじゃないかなと思うんで表紙と下にですね、前回会合この資料を、こういうところに入れ込んでいるとか、
0:48:07	その裏で加えることがあればこの対応してますっていう説明書きを入れておいてもらえますか。
0:48:16	その上で、ナカは
0:48:19	し、
0:48:20	全廃。
0:48:22	新規制定みたいな感じで、そのままでもいいかなと。
0:48:27	現在ノモトでございます。ありがとうございます。おっしゃっていただいてとりあえず表紙にですね、前回資料を、こういうふうに言ってくれましたという位置付けを変えて、今回の
0:48:37	補足説明資料かなり大幅に改定してやってるところもありますので、これ遠くクリーン版という形で、
0:48:48	どこ提出ということでさせていただこうと思います。以上でございます。
0:48:56	規制庁上出ですけど、一応まとめて確認しますが、今話をしたのは9月1日版の介護資料の部署につくものについては、特に、
0:49:08	下線を引かず表紙で説明が協議、

0:49:12	一方で8月30日に出てくる耐震建物08については今まで通りのルールで前回バージョンからの反映、変わったところにアンダーが引かれるってそういう理解でいいですか。
0:49:26	はい。二本木でございます。はい。同じ認識でございます。
0:49:32	はい、規制庁カミデよろしく申し上げます。
0:49:36	あと私から1点かな。2ページ目の(2)の一番下の資料提出予定で、
0:49:47	①番で、西東野。
0:49:52	伝達関数の減衰の検討だとかっていう話が、
0:49:58	報告メモがあつて、
0:50:01	なんだけどしかもタイトルヒアリングになってるんだけど、9月8日面談でって言うてるのかよくわからないんですけど、これって何ですか。
0:50:10	榎本でございます。ちょっと今そうですねヒアリング規模なんて書いていながら年間って書いていって申し訳ないんですけども、9月5日で、これ意図したものは、
0:50:21	書いてあるADの検討のですね助教これがうまくいくかいかないかというのを今まさにトライアンドエラーやっているとでございます。ここがうまくいかないとすればそのあとのスケジュールにも、やっぱり響いてくるともう1回
0:50:36	やり直すといったような工程が発生するかなといったようなことも考えながらやっているとでございます。
0:50:43	そういうことをですねちょっと途中段階ではありますけれども、これぐらいのところでは。
0:50:50	進捗状況を報告して、もしもそれがそのあとリスクが必要であればそういうお話も差し上げた方がいいかなという、そういう主にちょっとスケジュール的なですね進め方
0:51:04	をとらせていただいた方がいいかなという、
0:51:08	何だろうなとそういう情報のことであれば面談なんだろうなと思ってんだというふうに書かせていただいたということでございます。以上でございます。
0:51:18	規制庁カミデです。途中までは、そういう状況であればヒアリングですって言われるのかと思いきが、面談なんですね。ケア面ヒアリングですよそれは、
0:51:34	個別にヒアリングを立てるんじゃないに、そのぐらいの話であれば、まさに進め方のヒアリングの1メニューとしてやればいいんじゃないのと思ってたんですけど、

0:51:46	今スケジュールを見るとあれなんですね 9月の8日は、進め方のヒアリングがなくて、うまく収まらないってことなんですね。
0:51:56	何かその通りございます。
0:52:00	規制庁、深見です。それにしても、
0:52:06	ヒアリングで進め方なんで、ヒアリングで置いておいて、別途何だろう、取り組み状況とかで面談で聞いているところでまた何か話があるんであればまた別途面談で話は聞きますけど、
0:52:23	まさに今の検討。
0:52:27	の進み、検討状況の報告メモって言われちゃうと、ヒアリングですから、ヒアリングとしてセットしてください。
0:52:36	案件でございます。注記いたしました一部ヒアリングということで、衛藤、その所を、
0:52:45	規制庁捕捉率、今、
0:52:48	今後の進め方が、やらなくていいという発想のもと少し話があったような感じもするんですけど、先ほどの1ぽつの方の話からすると、まだそんなフェーズ2になってないような、
0:53:01	するので、そういうことも含めて、
0:53:06	9月第1週ですか。はい。なんていうんすかねよ、4日の幼虫についても再考いただいたらいいかなと。
0:53:20	日本原燃決得でございます。9月4日あと進め方の形なのかちょっとご相談してスケジュールリングしたいと思います。ありがとうございます。
0:53:34	はい規制庁上出です。2ポツ、耐震部分について私からは以上です。
0:53:45	その下にポツ耐震関係について確認はございますでしょうか。
0:53:56	よろしいでしょうか。
0:53:58	はい。
0:54:00	規制庁側から全体を通して何か確認がございますでしょうか。
0:54:07	よろしいでしょうか。衛藤。それでは原燃側から振り返り。
0:54:12	の方に出したいんですが、
0:54:14	本日の説明でよろしいですか。はい。はい
0:54:19	ゴトウの方でやらせていただきますはい。
0:54:23	はい。それでは、本日のヒアリングでの振り返りでございます。1ポツ関係については、
0:54:32	まず大きくは、別添1で示した整理ですね。こういう部分で、

0:54:38	やはりまだやらなきゃいけないこととしての認識が足りてないところが記載しきれてないところありますので、特に下水のところに書いていった重大事故と設計基準のとりあえず、
0:54:53	共通要因までにどういうところの整理を、どこをタスクでやるかと、いうこととその全体のスケジュール化、IPOと住民との関係も含めて整理をしていくと。
0:55:06	ということかと思えます。はい。
0:55:08	その際には、溢水での整理をトップバッターにやろうと思っていますが、全体の進捗も含めて、
0:55:18	他にもやらなきゃいけないこととの前後関係も含めて、全体のスケジュール感調整をしていくということ。
0:55:25	はい。
0:55:28	あとは、共通 12 の大説明グループ 1 と言っている別添 1 で一番左側の真ん中のものが、
0:55:37	今 12 位、提出 15 部屋となっておりますこれを、
0:55:43	出した時の、
0:55:45	ファーストアタックみたいなものと、実際の中身の話をするヒアリングと いうのを 2 段構えで、全体スケジュールは調整をさせていただい
0:55:55	ということ。
0:55:56	あと全体の今後も含めた中長期的な中期というか中期というか、進め方がちゃんと見えるように、この進め方のヒアリングの中でお示しができるようにさせていただくと。
0:56:12	ということかと思えます。はい。幾つ以上でございます。
0:56:16	4 ポツのほうの深井でございます。
0:56:19	まず、9 月 1 日と 8 月 30 日にご提出する補足説明資料の記載につきまして、9 月 1 日版は、
0:56:32	これは表紙に前回資料の実務を入れた栗山 8 月 31 件、従前のルール通りのカセを聞いたものということにご提出するということで打ち合わせ たさせていただきました。
0:56:44	それから、
0:56:46	9 月 5 日の検討状況報告についての加茂委員ですけれどもこれは 9 月 8 日ヒアリングの日付的ということで、確認させていただいたところでご ざいます。以上でございます。
0:57:02	規制庁の武田です。ありがとうございます。

0:57:08	コサクですけど最後の話は、今後の進め方として考えるように言ってますけど、今後の進め方で入れたいと思っております。ケットクでした。日本原燃ケットクでした。
0:57:23	はい。補足ですよろしくお願いいたします。
0:57:31	山田可児半田です。
0:57:35	すいませんコサクです。あと、念のためですけど、
0:57:43	今日の
0:57:44	特に一つの話で、竜巻でやるべきことを溢水でやるべきことっていうところを認識。
0:57:51	をお伝えしたつもりなんですけど。
0:57:54	途中イングロさんは発話いただいておりますけど、
0:57:59	高屋さんの説明認識は、
0:58:03	っていうか理解をしているのかということと次のヒアリングで、その対応について説明。
0:58:11	できるかというようなことをお話しいただけます。
0:58:14	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:58:17	本日の進め方で、いや、
0:58:21	いただいたコメントにつきましては理解をさせていただくつもりですが、今後、この後ですね、医師
0:58:28	の確認を取ってですね、
0:58:30	次回の
0:58:32	日のヒアリングで、私の方の理解も含めてですね、今後の対応方針、
0:58:38	等を説明させていただければというふうに考えております。以上でございます。
0:58:45	はい、黒須です。よろしくお願いいたします。以上です。
0:58:51	規制庁の竹田です。
0:58:52	その他進め方全般につきまして、
0:58:57	ございますでしょうか。成長側はよろしい。
0:59:02	県側は何かございますでしょうか。
0:59:07	いや進め方としては以上になりまして、
0:59:14	続いて、9月4日審査会合での最初の説明事項についてちょっと確認をしたいと思います。県野原ですね。
0:59:21	はい。日本原燃の決得でございます。耐震につきまして、審査会合のご説明、一度ヒアリング等をさせていただいておりますけども、少し我々の

	準備不足のところ理解不足のところもございましたのでですね、1、もう一度、
0:59:36	金9月4日のの内容につきまして、少しお時間いただきまして我々がどう発言するかを再度このヒアリングお話させていただきまして、
0:59:48	ご議論できればと思っております。それでは野元の方から説明させていただきたいと思っております。
0:59:54	日本原燃でございます。ちょっと資料のないところで恐縮でございますけれども、当日の発言を載せております河内沿いまして、ご説明させていただきます。
1:00:05	最初の説明のもう切り出しからですが、入力地震動の算定に用いる地盤モデルの策定につきまして、まず、これまでの経緯を踏まえた反省事項から述べさせていただきたいと思っております。
1:00:16	いや本来、新規制基準の適用に向けた設計では、客観的な視点に基づきまして、設計根拠の妥当性を確認すべきところ、今回申請というのは従前の設計条件をそのまま踏襲する形での基本モデルを
1:00:31	採用してきておりまして、データの金利を含めた確認が不十分となっております。
1:00:37	今回の申請では、基準地震動の相対新施設の接地域、
1:00:42	近海以降新たな調査結果がえられているデータのことなど、状態変化を踏まえた確認を行う必要がございましたけれども、これは不十分なものとなっております、
1:00:52	第1回設工認内容、また説明も不十分なものとなっております。
1:00:57	このような反省を踏まえまして、改めて、客観的な視点に基づく一般的な標準的な手法によりまして、施設の地盤の実態を考慮した伝説等を、を設定し、
1:01:09	それに立脚した地盤モデルの策定が必要であるという認識に、公開でありまして、前回の会合でもご報告した通り、そのような考え方に基づく基本基盤モデルを策定するための検討を行っているところでございます。
1:01:24	この検討は、原燃におきまして、専務基本を進めまして強化した検討体制に加えまして、
1:01:31	電力会社のメーカーとのゼネコンとの、等の専門家によるオールジャパンでのご支援もいただき進めているところでございます。
1:01:41	次に、具体的な地盤モデル設定における対応方針についてご説明いたします。

1:01:47	新たに基本地盤モデルを設定するに当たりまして、岩盤部分の物性器と、
1:01:52	岩盤部の非線形性、それから岩盤部分の減衰定数の設定、表層基盤の部関野要員費について、データの分析による検討を実施してございます。
1:02:05	この様式は入力地震動の算定に直接寄与するパラメーターである分析、先見性、減衰定数について、岩盤部分と競争部門それぞれで特性を整理した結果として、
1:02:17	データ分析による検討が、特に必要な項目を抽出したものでございます。
1:02:24	それぞれの検討につきましては、まず、現時点においてられているすべてのデータを用いた検討を行います。不足している場合は追加調査によるデータの拡充を実施して参るつもりでございます。
1:02:38	次に4品に対する深掘り検討の全体像について、
1:02:44	継続の具体的な実施項目については、規格基準類に示される手法、他サイト審査実績等を、を参照し、設置いたします。
1:02:52	岩盤部分の部関岩盤部分の剛性の非線形性については、6月の会合でご説明したところですので、今回説明を割愛いたします。
1:03:03	岩盤の減衰定数につきましては、前回、1階の方で、規格基準に記載された3手法である、材料試験による評価、サー検層による評価。
1:03:14	地震観測記録を用いた評価の結果を示しておりました。
1:03:18	が成功炉の検討実績等を参照いたしまして、さらに多面的な検討として、新たに品観測記録を用いた評価として、周波数依存性を、
1:03:30	考慮した検討を追加するとともに、
1:03:33	井清ハタ兵庫による検討を実施することといたしました。
1:03:37	この検討は、東側地盤中を一番、28番、1ヶ所ずつ出られている地震観測記録に対して行っておりますが、
1:03:46	今回中央地盤に対する検討結果をご説明いたします。
1:03:51	東側地盤西側地盤につきましては、現在データ精査中でありまして、次回の会合でご説明したいと考えてございます。
1:04:01	聞こえ、
1:04:03	さらに材料減衰SRS幸運
1:04:09	SRSにつきましてもうらついで、

1:04:11	前回、既往の検討結果についてご説明したところですが、大江さん件数について、これまでの敷地内3地点のデータに加えまして、敷地内を網羅したデータを採取することとし、
1:04:24	あわせて材料試験として、岩石コア試験によるデータを採取することといたします。
1:04:30	このデータを年内に最終ヒットした分析を終える予定でございます。
1:04:36	表層地盤の物性値につきましては人工地盤であることを踏まえた室内データの整備結果を、前回会合で説明しておりましたが、
1:04:44	中硬岩として均質に施工されていることの、施工管理、品質管理記録により確認した結果と、それに基づく物性値の設定結果を今回ご説明いたします。
1:04:55	また、この設定した物性について、敷地内ボーリングにより、さらに追加でデータ取得することにより、その妥当性を検証していくこととしております。
1:05:07	それでは減衰定数に関するご説明を申し上げます。
1:05:11	まずは地盤の実態を、を考慮したパラメータとして敷地の調査結果観測事実と適合する値を、を評価するというステップからまず始めてございます。
1:05:23	まず伝達関数を用いた検討です。
1:05:27	今回は、周波数依存性を考慮した条件として、教室に対してミニ型及びバイリニア型の減衰特性を仮定した減衰の同定を行ってございます。
1:05:37	Qを一番算定結果として、伝達関数の結果及び強知見との対応関係を、資料に示してございますけれども、リニア型、倍ナガタともに、伝達関数の評価結果につきまして、
1:05:52	概ね全ヒロキで伝達関数のピークが再現できていることから、特に建物構築物の保有周期において、観測記録とほぼ一致しており、観測記録の整合が図られているものと考えてございます。
1:06:05	ここで前回お示した寿検層の結果として、高振動数側で件数が一定となる結構傾向が明確に見てられないというデータがあることから、
1:06:16	リニア型の方がより観測記録をよく再現するものであろうと考えております。
1:06:21	なお、SRSによる検討は、基本基盤では7点のみでられているデータであることから、複数データを追加調査により、今後上げていく予定としております。

1:06:31	また今回地震ア卡西方法を用いた検討についても、速度構造の過程によらず、減衰定数を評価可能な文言として、新たに回帰しております。
1:06:42	非破壊情報の概要及び評価結果について、資料に示しておりますが、これその他 7%の値となっており、こちらの方は表ガス依存性がメールにはあるわけですね、となっております。
1:06:55	以上の検討でねらった検診の拡張に見られる周波数依存性の傾向や、各評価の、を持つ市内数件ひばります区間の特徴について分析結果を資料にまとめてございます。
1:07:10	以上を踏まえましてリニア、リニア型による同定結果の件数が基盤をちっちゃい地盤の実態を考慮したパラメーターとして適切であると、こう考えてございます。
1:07:20	ここまでは、地盤の実態を考慮した値としての減衰の設定についてご説明して参りましたけれども、ここからは設計上の合理性及び保守性を考慮するための検討についてご説明いたします。
1:07:33	この検討におきましてはそもそも一番保全是、施設への入力頻度を算定する目的のものであることから、観測シミュレーションの応答スペクトルを、保守的な値を与えることが判断基準となると考えております。
1:07:47	設計上の合理性に対する配慮といたしまして、実施設計を考慮した場合、
1:07:53	204601 に示される慣用値に示されるように、耐震設計においては減衰定数、周波数依存特性を考慮しないことが一般的な設定であることから、
1:08:03	極力、減衰は定期として設定したいと考えております。
1:08:07	このため周波数依存性を考慮しない場合の下水行政について、地震観測記録からの同定を実施したところ、旧大井基盤としては 6.7%を変えて結果が出られているところでございます。
1:08:19	このように、一定年数を設定した場合、伝達関数要求機能を大きく評価することになり、それによって地盤応答の最大加速度を大きくする、大きく評価することになりまして、
1:08:31	短周期側の加速度を大きく評価される結果となります。
1:08:35	実際に 6.7%、1 定期による、地震観測、記録のシミュレーション結果をリニュー方による結果と比較すると、月 1 定期の条件によるシミュレーション結果が、より大きい値となることを確認できております。

1:08:50	今後最終的な一番基本地盤モデルの設定を行う際には、西側地盤及び東側地盤における今後の検討結果も踏まえまして、施設評価が保守的に行えるよう設定して参ります。
1:09:04	次に表層地盤について、表層地盤の分析についてのご説明です。
1:09:09	まず埋め戻しにつきまして、再処理施設における名簿の指導は、二つの施工時期、1999年ごとに選任されておりますが、
1:09:19	二つの音声方式の材料企業、施工管理、品質管理状況を確認し、
1:09:25	業者が同様の管理、施工されており、共同特別購入代による小山内ことを確認しております。
1:09:33	具体的には業者に最大乾燥密度と、最近完成品により締固め材料基準に基づき、姫型のエネルギー置いて、木崎厚さや見学回数を検討させ、
1:09:46	敷地全体の振り戻しとの強度及び締固め状態について、下の方に均質化できるように設定しております。
1:09:55	ハダ被覆管につきましては、施工年代別の本質厳しい締固めのぜひ及び流動ポンプを確認することにより、一定のバスで初めて換算することを確認しております。
1:10:07	さらに、強度特性として、非排水センター等と集めて応力との関係を示してございます。施工年間ヨシザワないことを確認できております。
1:10:18	の特性アベ説をいたしまして1999年以前と、2000年以降のデータをある程度、ばらつきに入ることを、は入っていることを示してきましたけれども、
1:10:29	今回施工人材について、疋田ジーゼルによる加速度応答スペクトル分析を行っております。
1:10:36	要は現在の人選による基礎底面位置での加速度応答スペクトルを、T0の平均及び評議員補佐士、比留間回帰による、家族の音スペクトルの
1:10:48	加速度応答スペクトルと比較したものを図に示してございます。いずれの年代のデータにつきましても既存の平均給与に±は比留間の加速度応答スペクトルに包絡されることが確認できております。
1:11:02	次に流動場所のご説明です。
1:11:04	前回のご説明ではセメント添加量がほぼ同等であったことを根拠に、全データを平均化した実績を用いておりますいましたが、今回改めてせこいの管理企業の精査を行ったところ、
1:11:15	一軸圧縮強度給与の管理基準において二つのグループに大別されることを確認しております。

1:11:20	この管理基準の基盤、Vsに影響があることから沸石を管理基準に置いた数グループに分けて設定することといたしました。
1:11:30	ここまでの表層地盤物性の結果です。
1:11:33	人工材料である埋戻しのは施工時期によらず、施工プロセスや品質管理条件が同等と確認できたことから敷地に入っていたデータの平均値をこうきます。
1:11:43	この際埋め戻しについては、土質材料であることから、議案の①に基づきまして、拘束圧の影響による深度依存性を考慮した布石をさせていただきます。
1:11:54	流動化商品については上期において都合 6 での平均値を用いて参ります。
1:11:59	この際セメント転換による銀行材料であるため、一般的に土質材料のような拘束圧依存による深度依存が見られないことから、大規模 6 第二グループともに頻度異存ない。
1:12:10	1 人 3 平均値を設定しております。
1:12:14	なお入力地震の算定にあたっては、表層地盤に見込まれている泉タテに対しても競争基盤を考慮することという、
1:12:23	今後行っていく追加調査についてのご説明です。
1:12:27	減衰定数に対する追加調査として、岩石コアを用いた減衰定数、ボーリング孔内減衰定数、常時微動の継続を行い結果の分析評価を行って参ります。
1:12:37	また、表層地盤の布石に関しましても、上本氏に対して追加ボーリングにより 5 世紀を最適結果分析評価を行って参ります。
1:12:46	最後に今後の対応についてでございます。
1:12:48	伴関田岩盤部の減衰定数につきまして、期間カシワギ版につきまして、引き続き地震観測記録を用いた評価を実施し、その結果を踏まえて、基本基盤モデルに設定する減衰競争を検討して参ります。
1:13:02	また先ほどご説明しましたように、敷地内ボーリングを含めたさらなる追加調査について、年内をめどに行い、年明けにかけての結果の分析評価を行って参ります。
1:13:12	そしてこれらの追加調査結果を踏まえて、基本基盤モデルとしての総合評価を確定して参ります。以上でございます。
1:13:23	規制庁の竹田です。
1:13:25	一旦ホンセイ。
1:13:27	停止します。

1:13:30	はい。規制庁の竹川です。説明の方、ありがとうございました。
1:13:36	規制庁側から説明につきまして何かコメント等あればお願いします。
1:13:41	規制庁の長谷川ですけれども。
1:13:45	マエダと何か、
1:13:48	まず、原燃の姿勢追加調査をすることを今後やることの項目、この2点を確認いただくことが今回の審査会合の目的と、
1:13:58	いったところに立ち返りまして、その背がわかるような説明を、にしたいというふうに考えております。また、我々すいません先走ってですね
1:14:08	見通しであるとか、狩野設定とかいった話をしてますけどまだその話をする時期ではないという、スタンスに立ち戻りまして、追加調査をして最終的にはそれを踏まえて決定すると。
1:14:21	ただし、やれることはきっちりヒガシもできてないところがございますので、それをやっていくといったところを説明できるようにという趣旨で、少し、少しというか、改良を
1:14:32	してきたつもりで説明させていただきました。以上です。
1:14:36	規制庁の瀬川ですけど、今の話と、はい。先ほどの野崎さんの説明は、一緒なの。
1:14:44	その趣旨ではい。
1:14:47	そう。そう聞こえなかったから。そうですか。はい。何か、結局、4日の日には何を議論したり、
1:14:57	何か日当たりとか、
1:15:01	どうなってる。
1:15:02	日本原燃の決得でございます。4日の審査会合はですねやはり前回も前回の審査会合でも言いましたけども我々の今までのやり方のところの反省がきっちりされてですね、
1:15:14	まずい、反省をする、反省することが大事だと思って賛成をするところはどこだったの。
1:15:21	説明の中で、
1:15:23	冒頭のところでちょっとまとめさせていただいた、そこはもう、何か聞いてるよね。だからそれ、その結果として何なの。
1:15:36	その反省を踏まえる発生だから作成しましたって言ったら反省したことになるんじゃないくて、反省した結果何が駄目で、だからその部分をどう修正して、
1:15:48	どういうふうにしてるんね、することにしたのかっていうのは、
1:15:53	説明がありましたか。

1:15:55	ご説明したつもりだったのが、その反省を踏まえて、まずは施設の地盤の実態をデータに基づいて、きちんと把握して考慮した分析を設定して、
1:16:08	それに立脚した地盤モデルの策定といったものを今回する必要があるという認識に、今回は図に基づいて至ったということで、そのような考え方にに基づいて基本地盤モデルを策定していくという、
1:16:24	ていうところがちゃんと説明されてないという。
1:16:27	これは説明しました。これは説明してます。これを説明して考察はこうでして、
1:16:35	というだけでは、計画って、ちゃんと説明した。
1:16:41	だからさね。
1:16:45	途中までのはなCはね。結局ね、ちゃんとしたね。そこもだから不十分っていう言い方をするから、またよくないんだよね。やってなかったんだよね。
1:16:57	はい。教えてください。もともとやってなかったんで、やってなかったところを、じゃあ何するんだよっていうところをちゃんと説明しなきゃいけないですそれから、標準的とかさ技術的とか言ってるけど、
1:17:11	その具体は何なのかがちゃんと説明されてないわけだよ。
1:17:16	具体は、あるデータをすべて使ってちょ、直下でやっていくという、一つそこは、この間の資料の8ページにその項目が書かれていたはずなんだよね。はい。でもその項目をちゃんと説明してないんじゃないかっていう、なぜ説明しない。
1:17:36	ね。はい。これだけのパッケージをやりますっていうところに、そこがなぜちゃんと説明しないまま、その中身について説明してるんですか。
1:17:48	いうのがよくわからないか。
1:17:50	だから何も変わってないんだよね。何が大事かって言ったら、そうですね、全体のパッケージね技術的何だかのとかね一般的手法でとかさ、どうでもいいわけです。そんな言葉で、はい。
1:18:03	ある意味、はい。具体の中身の計画のパッケージはどうなの。
1:18:08	はい。ね。うん。ね。そのパッケージを検討する中で、データがやっぱり足りないということに至っては、追加調査もするっていうところが全体のパッケージ問題っていうのが一番大事なんじゃないかと。はい。
1:18:29	おっしゃる通りでちょっと我々の追加のところが、もう少し具体などこいったとこしか出てませんので、冒頭でやはり直下でやる、あるデータをす

	べてすると、ナカジマ岩ちゃんと追加にするといったところを、最初のところと言わないと、後から、
1:18:45	何か個別の技術のところと言うんじゃないで、最初のパッケージのところではないということにそのパッケージを説明したつもりでいるの。
1:18:54	そうですね。アノセ。
1:18:59	それぞれに対して必要なものを全部出して、足りないところを追加調査で全部補っていくと。
1:19:07	いった説明のつもりはしてますけど、確かに伝わっていないということは難しいんですね、パッケージの中にすべてが入ってるんだよ。
1:19:17	はい。だから、パッケージを作って追加調査をするんじゃないんだよ。はい。追加調査も全部含めたトータルのパッケージっていうのがいるんだよね。はい。そのパッケージの中で、
1:19:30	今データ持ってるものと、まだ持っていないものがあるっていうそういう世界なんじゃないんですか。はい。パッケージなんかあるパッケージに追加されていくので、
1:19:40	いえ、今その認識ではございませんし、今パワーポイントも直してございますけども、すべて一つのマップの中に入ると。
1:19:49	で、その追加調査も含めて、管理部分はさんの説明の言葉で言ったものが違ってたよね。
1:19:59	はい、日本原燃決得でございます、最初冒頭のところのは、反省を踏まえたところに、まさに入ってくるのが、直下であるとか、あるデータを使うであろうが、田嶋井は追加しますと。
1:20:10	いったところのところはちゃんとないと、後のところで、幾ら追加追加と入れてもですね、
1:20:17	生理整理としては不十分だと、気が付きましたので、冒頭のところでちゃんとそのパッケージと、直下あるべきデータ当たらないような取るといったところ、宣言させするような、ちょっと修正させていただきます。ページが全部これだけやるんですっていう。
1:20:33	コガないと駄目だよ。はい。そして、ここについては、
1:20:39	はい。まだ足りないデータね、十分なデータが足りないからそこはとるんですっていう部分が幾つかあるっていうことなんですよね。何しろだからさ、いわゆるさ、計画の全体像が、はい。ちゃんと施工説明しなきゃいけない、この話は進まないというかね。

1:20:56	はい。だから、何ていうかな、何もやってなかったからね最初に戻るわけだよ。はい。戻ったときに、計画をするとこんだけのことやらないといけないと。はい。いうことをオールジャパンでね決定したわけでしょ。
1:21:10	ね。
1:21:11	そうすると、こんだけのことやらないといけないとなると、まだまだデータされないなというところに至って、そこは追加調査を今後もやりますというのも含めて、全体のパッケージがこうですっていうのがあると。
1:21:26	ただしそのパッケージのうち、ある部分ね。
1:21:30	この部分とこの部分は、すでにデータはちゃんと吟味して、はい。説明もしているっていうそういう内数が、
1:21:41	そっから始まってんじゃないか先に内数説明してるんですね。
1:21:46	おっしゃる通り、後の方で追加追加とポロポロポロ入れてるんですけども、最初に入れてないと、スタンスが、
1:21:53	ずれて反省の一番はそういうふうに加えてそれが初めて、今までは何かパーツだけやってたんだよ。はい。うん。ね。%通だけやってるとだんだんわかってきて、今回初めて、
1:22:06	計画のパッケージが説明できる状態になったんじゃないの。はい。今まではパッケージ説明してないんで。はい。
1:22:21	そしてある部分のね、当時ね、地盤の物性値とか、非線形性みたいなのところっていうのはすでに説明、
1:22:31	説明はしているし、ここは特にデータを、はい。
1:22:36	話したりする必要も今のところ自分たちはないというだけでね。
1:22:43	じゃない。はい。
1:22:45	そうです。そしてはね、
1:22:48	6、6月7、78月ぐらいで、ね。
1:22:53	汗をかいた部分が、こんなことは、地震観測記録は今回ね、中央地盤だけを説明。
1:23:03	はい。
1:23:03	そこはずっと進んだので進んだところは、今日説明をさせていただきます言うだけでは、
1:23:13	そしてね、ただしね、説明の中でちょっとおかしかったのが、データがすべて出揃っていないのに、
1:23:24	何か総合的な評価っぽいことをしてるんですね。
1:23:28	はい。

1:23:29	現時点でのデータにおいてちゃんと実ないデータの言葉、それをね、最終的なねデータセットの話とは違うんですね。そうですね。
1:23:42	でもデータセットの話までしてないかっていう。
1:23:46	通していないつもりですが確かにちょっと言葉遣いを少し、多分、減衰のところ、点数のところに対しては、何か工学的2とか、設計上のつてという言葉が出てくるんでは、はい。
1:24:01	そういうのが時期尚早で、データが出揃ってないのに、また中途半端なデータでね、何か最終的な考察までしてないっていう。
1:24:14	それはどういうことなんですか。
1:24:17	そうですね、ちょっと疑念をすべてのデータがそろった段階でしかできないんじゃないかという
1:24:23	ちょっと言い訳してもよろしいですか。
1:24:26	言い訳はいらない。すいません。
1:24:28	見受けられてございます
1:24:32	中央地盤の、やって汗かいたかのご報告するところですね、リニアであるといったところまでは全然問題ないと思いますリニアと言って入力を行ってするのを、今後こういうことをやっていきたいという非宣言はいいにしても、
1:24:48	6.7とかいう数値を出してですね想定したような果たさねえとある解析の結果として、大体このぐらいって数字としては別に出てくるからそれはそれでいいんだけど、
1:25:04	結果単なる今出た結果がこういうふうにさしているだけってことで、それを何か設計との兼ね合いでね、何かってところまでは、現状のデータは、
1:25:18	事務所にいるんですか。
1:25:20	て言ったときに、
1:25:24	もう地震観測記録の中央地盤についてはもうこれ雑ホールですと言うんだったらそれでいいし。そうですね。一方で、他のボーリングを掘って、S波とかやってそれをね、
1:25:37	そういうのを全部見て総合的に見るしとかヒガシの地盤のね、地震観測記録なんかも全部緩和するんだとそれと、はい。で、それは総合的な評価ってというのは時期尚早になってるんで、そこはだからね、
1:25:53	本当具体的方法論みたいなのは説明してないからね。そういうところなしに、そういうふうに言われても、はい、じゃあその善し悪しを今回判断。はい。

1:26:04	するんですか。だから、今回の地震観測記録の中央地盤の説明。
1:26:12	大下して、我々に問う議論は、何を議論したいんですか。単なる汗をかいた報告で、取りとりあえず中間の状況として報告しますと、議論は特段、
1:26:27	そうです何かコメントあればもらうけれども、何かここで善し悪しを判断してもらおうとやっていうことではないのかそれは善し悪しを判断しろと言っているのか。
1:26:39	はい。日本原燃の決得です。ちょっと説明はしたつもりですけどちょっと文章とか、ポイント出すポイントがおかしかったので我々今回汗をかいたことを、を言ってるだけで善し悪しの判断は今後の西ヒガシが出たと。
1:26:54	もしくは、追加ボーリングデータ等にし、し議論していただきたいというのがスタンスでございますので、そこはちょっと言ったつもりですけどちょっと場所とか、表現方法が明確でなかったので変な誤解を与えたと思いますんで、再考したいと思います。
1:27:10	さらに、
1:27:12	聞いてなかったけど、この追加調査の計画っていうのをちゃんと説明することだよねっていうことが、それを入れました。はい。はい。本部の方に、
1:27:24	ただ結局だからそこはね。そもそもこういう理由でね、こういうデータが足りないっていうところからちゃんと、
1:27:34	ホデないといけなくてその計画の善し悪しなりっていうのは、
1:27:41	議論の対象なんですか。
1:27:43	ここは、今まさにやっていこうとしてるので、やっている内容は、農業は少し議論していただきたいポイントだと思ってますので、そこはきちり説明しないとイケない。ただ、出てきたアウトプットは当然出てませんので、
1:27:57	計画としての妥当性というのは見ていただきたいポイントかなと思って、
1:28:04	矢田です。はい。
1:28:06	その部分を説明する。
1:28:09	そうするとね、全体からすると、大きく三つのブロックに。はい。
1:28:16	本当は大きくは二つなんだけど、話としては三つのブロックに分かれていてね、ちゃんとやってなかった反省を踏まえた全体の計画を、
1:28:26	まず説明したいと。多分この計画っていうのは一定程度の計画としてね、やるべき項目とやっていうのは、そこは多分こういうのが足りないんじゃないかとやっていう一定の議論にはなるね。はい。

1:28:39	その結果は、とかね、その具体的な方法は別として、もう項目自体がこのぐらいの項目が、技術的な感じで、
1:28:49	現地から見て、必要な項目がちゃんとそろってるのか、最善が尽くされそうか。はい。
1:28:56	はい。
1:28:58	ていうのが1点。はい。それから、今回、前回から今回にかけて書いた部分というのは、ここまで汗かいて、検討を、
1:29:10	計画のうちこの部分っていうのを、
1:29:14	やってますと、これは単なる簡単に言ってしまうら紹介ぐらいで、事業報告ですね、紹介です。ここはだから、ざっとでいいかもしれないね。はい。
1:29:27	はい。ね。どこまで技術的な中身までね説明しきるかって言ったら、そこはでもね、対象じゃないとすると、それほど時間かける必要はない。はい。
1:29:40	おっしゃる通りでこれはまだ部分に3番目として、追加調査をすると。はい。ここは議論して欲しいと、追加調査がまあね、大体そんな。
1:29:50	ところで、いいのか悪いのかっていう、これの結果がね。はい。
1:29:56	見て多分追加的にやらないといけない出てくるかもしれないけど、大ざっぱな話としてどうかっていう。
1:30:02	話としては僕はだから重要だからね、一定程度をやるよね。はい。
1:30:08	ていう、そういうことで、結局、元は、今まで結局ね、トータルで1年ぐらいいかっちゃうけれども、入力地震動の策定っていうのが、やり直しを含めて、
1:30:22	年末年始ぐらいの
1:30:26	ところまでで、一定の計画を示してそれに沿ってやりますというそういうのがメインの説明になると思います。
1:30:36	いうそういうこと。
1:30:38	おっしゃる通りで、でもそういう説明には、
1:30:42	今日はなあってなかったよね。そうですね。だからせ、やりたい説明と、しゃべってるのが随分違うんだよね。だから毎回そこに問題が生じてるんじゃないかと。
1:30:56	今日の説明からすると、はい。一番薄くて結果の紹介みたいなところが2、随分時間とってたよね。
1:31:06	はい。はい。今回のコミヤとハヤシな計画の全員をね。はい。
1:31:12	ていうところが薄っぺらい二分で。うん。

1:31:18	はい。はい。
1:31:21	計画の専用のところが一番大事なんですけど、その中に結局、追加的な話っていうのも入れるとそれがだからおっきな話で、そこなんじゃない。
1:31:32	はい。
1:31:35	で、そこに原燃がなんかね、Steeringチームなりが検討をしてね、
1:31:43	方向転換、大きな方向転換をちゃんとしてね。
1:31:48	ちゃんと初心に戻ってちゃんと科学的技術的な見地から、データしっかりして、
1:31:55	で足りないものも見つかってるんで、それもちゃんと追加的にやって、そのパッケージはどうですか。
1:32:05	ちょっとなんじゃない。
1:32:06	そこのね、技術的にも、オールジャパンの技術者そろえてね。
1:32:12	しっかりやっていきますというそういう説明をしたい。はい。
1:32:18	だったらそこにちゃんと力を注がないといけないんじゃないかと。だから力を注ぐイコールね、一番そこに時間をかけてしっかり説明をすると。はい。
1:32:30	いうことではない。はい。
1:32:33	日本へ抜けてますおっしゃる通り三つのポイントで、全体反省を踏まえた全体の計画汗かき、追加調査、我々ちょっと少し、2のところの説明が冗長になりすぎて、大事な1のところ、ここが薄かったと。
1:32:46	能登さんのところもちょっと、今から今思えば少しあったりしてるんでここを審議していただくならばもう少し、何のためするのか、どんなことをするのかというところ、ボーリングの位置がいいのかとか、
1:32:58	そこは我々ですけども追加調査をしていくといったところは
1:33:06	するという、言ったことは、
1:33:10	いいんじゃないだろうかといったところは、コミットいただきたいなというふうなポイントだと考えた調査で、こういうことをやっていくというので、項目も私はしてますけれども、ここも含めて全体計画として、
1:33:23	十分であるかどうかの追加調査ですべてクローズできるだけないってのがそろってるかといったようなところが見ていただくポイントの一つになるかなというふうには思います。以上です。はい。
1:33:36	なんか、みずからちゃんとそこを考えないとね、結構確認してね、僕は今確認してたんですけど、さっきの、
1:33:45	内容に食い違いが生じてるでしょう。

1:33:50	毎回それなんだよね。
1:33:56	オダ
1:33:59	シワヤ。
1:33:59	入れて、他の人。
1:34:03	規制庁の竹田です。他、規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:34:15	はい。規制庁浜崎です。
1:34:18	ほとんど今管理課の方から、はい。お話があった内容ですけども、ちょっと私の今、先ほど野元さんの普及を聞いての感想なんですけど、
1:34:28	まず最初の入口のところ、やっぱり反省のところ、反省を踏まえて、
1:34:36	今回、地盤モデルを、
1:34:38	ゼロスタート、荒谷っていいですかですね、ゼロスタートで作り直すんだと、いうこと、これは6月の会合でも言ってるというものの、そこはやはり一応、非常に重要なところですので、共通してもらいたいと。
1:34:53	そうですね。実際、
1:34:55	何ですか。
1:34:58	前回の既存のものを手直しするとか、そういうレベルではないのですね。そこはしっかり宣言してもらいたいと、再度ですというのと、
1:35:08	そのためにはどういうことを考えているってということで、先ほど管理官言われたパッケージの話で、前回の、今回、今週でしたっけヒアリングの時に、ページ8、8ページにあったような内容を、
1:35:21	やはりしっかりと説明してもらおうと。
1:35:23	一つずつですね、それは、使ってないデータを使うとかそういう話も含めて、かもしれないし、今回新たに考えてつけことをパッケージにするものでもいいんですけども、
1:35:36	やはり実際、作業として、新たにゼロスタートで地盤モデルを作って、こういう作業が今後あるんです、或いはやっていますってことを、
1:35:46	一つ一つ明確にするんで、
1:35:49	その一つ一つの中でも進捗状況が今違うわけです。
1:35:54	先ほど野呂さんの話ですともう、伝達による方法でそこまで評価してまず。6.7っていうような数字が全部、何かあたかも
1:36:04	これ上川も言われたように、あたかももうある程度もうモデルができてるようなイメージを、が伝わってきましたんで、あくまでもこれは伝達関数の中央地盤の結果を出ましたという、
1:36:18	これヒアリングでも言いましたけれども、全体の中のパーツの一部のスケーリングでも言いましたけども、あの数字がやっと出ましたというところ

	ろであって、例えば当然地盤に関してはまだスタック中でしたっただんですね。
1:36:30	或いは、えさ元素に関しては、今後進めていく、こういう計画で進めていくという
1:36:37	各国の項目のステージが、
1:36:40	これ違うわけであって、そこをやはりしっかりと、現状をこういう図で出すということで、説明をしてもらわないと。
1:36:49	ナカとかも全体が終わったとこう進んでるなというふうに、
1:36:54	聞こえましたのですね、明確にそこは工夫してもらいたいというのが私の感想です。
1:37:01	で、
1:37:02	衛藤。
1:37:04	エザワ係数等もですね、追加検討についての話っていうのは来週、月曜日にもですね、火曜日でしたっけ、ヒアリングがありますんでですね。
1:37:15	それも踏まえて、
1:37:19	原燃側の説明内容、或いはこちらからの確認事項ということも上がってくると思いますけれども、そのやはり説明がないと、最後でですね、そういったやりとりができないということもありますので、
1:37:31	しっかりと事務をしてもらいたいと思います。
1:37:35	よろしいでしょうか。はい。金ノモトでございます。ありがとうございます承知いたしました。
1:37:47	オカ規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:37:54	よろしいでしょうか。
1:37:56	江田議員の方から、振り返りをお願いします。
1:37:59	時間は必要でしょうか。いや、そこ延ばさせていただきます。お願いします。はい。日本原燃の決得でございます本日の振り返りですけれどもやはり今回の審査会合で、
1:38:11	何をきっちり説明するかといったところ立ち戻って説明の内容を見直す必要があるということでございます。大きくは三つの区分がございまして、
1:38:22	まず反省を踏まえた全体計画、ここで対カーであるとか必要な項目であるとか、そのパッケージであるとか、そういったことをきっちり紹介してそれらをオールジャパンでやっていると。

1:38:33	いったところをきっちり、まずは全体像を説明すると、二つ目のポイントは、現在の進捗をご説明するところですこれ、後は、ご報告内容でございまして、審議内容ではないので、
1:38:44	時間配分なんかも少し考えないといけないということで減衰と表層の取り組み状況をご説明したいというふうに考えてます。最後の三つ目は追加調査で、これは全体計画も入れておりますけども、
1:38:58	これをすれ小全体計画とその追加調査を全体でもって、新しく地盤がゼロリセットで作ってつくり直せるといったところのためには非常に重要なポイントでございますので、ここの
1:39:10	は議論できるような、データをきっちり説明し切るといったことが第受計画を説明し切るところが大事だといったところに立ち戻りましてもう一度、資料とか、
1:39:22	説明のスタンスとかいうのをもう一度練って資料を、
1:39:27	再度提出したいと考えております。以上でございます。
1:39:32	規制庁、竹田です。ありがとうございます。今のご説明につきまして確認はございますでしょうか。
1:39:42	よろしいでしょうか。
1:39:44	はい。全般イマセ規制庁側から何かございますでしょうか。
1:39:52	よろしい。
1:39:53	県側もよろしい。
1:39:56	では今日予定していただきたいのは以上となりますので、これで終了とさせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。